

市民が主役

まちの主役は市民です。役所と議会を市民の視点で改革します。

市の政策づくりに、関係する当事者が参加する制度を設け、市民の知恵や意見を生かすべきです。議会も市役所も**市民の視点で改革**します。

- 市役所の情報は市民のもの。役立つ制度や情報がわかるよう、市民の立場で**徹底した情報公開**を求めます。
- 市民活動センター**を設置し、市民の力を支援。高齢者、障がい者、女性など、政策に当事者の参画を進めます。
- 市役所の窓口で何でも相談できる「**総合相談窓口**」があれば市民にとって大変便利。実現にむけ努力します。
- 議会の公開・市民参加を進めます。議会のインターネット配信、市民が参加できる**議会改革**を進めます。

やさしいまち

住みよいまちづくりに、生活道路や歩道と市内公共交通の整備が必要です。

向日市は、西日本一コンパクトなまちです。でも道路や歩道は狭く、バス交通が不便なため、交通弱者にとって住みよいまちではありません。生活道路の整備と市内バス交通があれば、向日市の良さが生き、便利で素敵なまちになります。

- 高齢者・障がい者・妊産婦などの日常の市内移動の足として、**小型の巡回バス**を走らせるべきです。
- 誰もが安心して歩けるよう、**歩道と生活道路の整備**計画を市民に公表し、計画的な整備を求めます。
- 市民の生活の足である自転車事故防止と被害救済のため、自転車運転ルールの啓発と、自転車保険加入を促進する**自転車安全条例**の制定をめざします。



杉谷伸夫が取組んできたこと

- ◎『杉谷ひろば』を毎月発行し議会報告会を開催。議会や市の施策を皆様に届け、市民の声を市政に反映しました。
- ◎議会の議案全てをホームページで公開することを求め、実現しました。
- ◎「市民のための議会への改革を求める請願」に応え、改革に積極的に取り組んできました。



杉谷伸夫が取組んできたこと

- ◎市内巡回バスを重要施策に位置づけて取り組みました
- ◎各地のコミュニティバス、福祉バスの実態を調査し、議会で提言しました
- ◎歩道、私道の整備箇所、バリアフリーの提言や、自転車事故対策と自転車保険義務化などを政策提言しました

子育て支援

すべての子どもと子育て世帯の支援を向日市の政策の柱にすべきです。

かつて「子育てするなら向日市に」と言われ、子育て先進自治体だった向日市ですが、この間後退した子育て支援施策を強化し、子育て世代が定住できるまちをめざします。

- 保育所**待機児完全ゼロ**の実現を！
現状は定員大幅オーバーで、年度途中に多くの待機児が。市立第2保育所の建替え・定員増を図るべきです。
- すべての子育て世帯を支援します。子どもが安心して遊べる**居場所作り**、子育てママが集える**居場所作り**を。
- 京都府の助成制度を生かし、**子どもの医療費無料化**を中学卒業まで拡充を求めます。
- 中学校給食**の実施は重要な子育て支援施策です。栄養豊かで温かな給食の実施を。中途半端な給食はダメ。



杉谷伸夫が取組んできたこと

- ◎今年度から始まった向日市の子育て新制度の課題を指摘し改善を求めました
- ◎市立第3保育所跡地を子育て・女性センターに活用することを提言しました
- ◎中学校給食を繰り返し議会で提言。法的にも財源的にも向日市が実施すべきと訴え、実施への流れを作りました。

環境と平和

子どもたちに美しい自然と平和な未来をつなぐのは、私たちの責任です。

原発事故は、地域を破壊します。二度と過ちを繰り返してはなりません。また、戦争するための法律制定ではなく、平和外交にこそ力を注ぐべきです。

- 戦争**するための**法整備**に反対し、平和憲法を守ります。
- 原発事故が起これば、向日市全域が重大な被害にあいます。**原発は再稼働せず**、自然エネルギーへの転換を進めることを求めます。
- 災害から市民を守る備えを万全に！**地震と豪雨災害**に備える防災・減災を進めます。
- 空き家の増加、ゴミ収集、騒音問題など**住環境の改善**に取り組めます。公共施設の老朽化対策に取り組めます。



杉谷伸夫が取組んできたこと

- ◎原発再稼働に反対し、国への意見書採択に貢献。原発防災計画作りを提言。
- ◎福島原発事故からの避難者支援に取り組んできました。
- ◎憲法違反の「集団的自衛権の行使容認」に反対する意見書を提案し採択を実現
- ◎内水氾濫マップの作成を求めています